



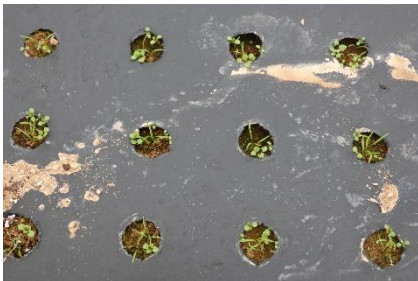
2023.03

はだけは
ひろいな
おおきいな

〈なぜ？ どこから？〉

ツグミがハウスの中にたびたび入っています。2月7日にハウス①の中に入っているのを見つけて以来、2～3日に1度くらいの割合で入っています。

標高500mの山のてっぺん、世羅高原の畑から、畑の風と、採れたての野菜のある毎日をお届けします。農薬、化学肥料を使わずに育てました。



〈きれいに発芽しました！〉

1月17日に種まきをした3回目の人参です。草の芽に紛れていますが、細い葉っぱが人参です。まずは1回目の草取りです。
ハウス②



〈早く大きくなあれ！〉

ハウレン草、あと1週間ほどで収穫の予定です。が、毎日の見回りは欠かせません。

ハウス②



〈マイナス5℃のお楽しみ！〉

明日の朝は冷える！という日には、いろんな容器の中に水と葉っぱをセット。どんな氷ができるのか、次の日の朝が楽しみです。

虫たち、動き始めました

ハウス①の4回目の人参が、ピンチ！ 2月になってから種まきをする、虫に食われることがあるからと、1月25日にまいたのですが、やっと出てきた芽がなくなってきています。その前に種まきをした大根も、その後に苗を植えたカブやコマツナも、日ごとに小さな芽がなくなってきています。

時期をずらして種まきをしてみた人参は、1回目、2回目と、きれいに発芽、1月17日にハウス②に種まきをした3回目の人参も、虫に食われることなくきれいに発芽しています。同じころにハウス②に定植したハウレン草などの苗も、順調に大きくなってきています。

種まきをした野菜が全部収穫できたらいいのですが、残念ながらここではそんなことは望めないこと…。種まきから収穫まで行きつけるのは、ある意味奇跡かもしれないと思うほどです。時期をずらしながら、少しずつ、いろいろなものを作ること、一年を通して野菜を作り続けます。冬の間も休まずに作り続けるのは、自分たちが食べることを休まないから。…そこに山があるから登り続けるのと同じかなあ…。

〈3月の野菜〉

露地の畑

ネギ、大浦太ゴボウなどが収穫中。菜の花、アサツキ、葉エシャロットなどの収穫が始まる予定です。

ハウスの中

ミニ大根、紅化粧、黒丸大根、黄金カブ、人参(葉付き)、葉エシャロットなどが収穫中。

ハウレン草、赤茎ハウレン草、コマツナ、ロケット、リアスからし菜、赤リアスからし菜などの収穫が始まる予定です。

サトイモは、保存穴の中に保存しているものを出荷中。